

2021 年度活動報告（審議会報告）

2021 年度は前年同様コロナ感染で明けコロナ感染で暮れた年でした。また、クラブ内では年度末に棚田と園路の両リーダーの病気による期中退任問題が起こりその善後策に追われる等、難問立て続けの年でした。

コロナ感染の世界的流行は東京オリンピックを無観客開催に追い込み、当然クラブの活動への影響も大でした。総会は 2 年連続書面決議での実施に始まり、タケノコ堀、ホテル観賞、自然観察会等の人気イベントを含め多くの物が中止されました。当然通常活動も中止や活動時間の縮小の中での運営でした。このため、2020 年度のテーマ、「また来なくなる公園づくり」に向け「遊び広場」の設置作業は手つかずとなり、僅かにビートルシップの改修、ビオトープの浚渫と新ヤマザクラ周りの竹の一部伐採に止まりました。ただ案内ルート検討委員会が、周遊コース、小径めぐり、池巡り等のルートガイドを完成させ、来園者に配布することができ貴重な成果となりました。

多くのイベントが中止の中、公園最大の秋の郷遊び、正月の郷遊びが感染拡大の合間を縫い実施できました。久しぶりに子供や父兄の笑顔に心が満たされました。当然各チームも我慢の活動でした。棚田は田植えから脱穀精米、迄のコメ作りイベントを、園路竹林班による見処（休憩展望広場）の案内標識を含む整備、果樹樹木キノコによる果樹や植樹地の維持管理、自然ふれあいは、恒例のササユリ保全や樹名板整備活動に加え紙漉きやリース作り等の女性会員拡大に対応した新規活動、初の研修補助金を利用した大神神社のササユリ育成施設見学。天神川チームは、蛍ビオトープ周りの開設（一般公開）に向けた準備、天神川左岸の大量に枯れたハチクの除去等根気のいる作業や女子による草木染活動の継続実施。竹工作は従来の籠づくり教室に加え、竹バランストボやスギ鉄砲など子供向けイベントの拡充に努めました。

・棚田と園路竹林のリーダーが病気等で期中退任への対応については

棚田継承と後任選が最大の課題となりました。棚田については大家さんが臨時事務代行として対応いただき、新たな試み「大人の農業体験」名の農業活動体験希望家族を募ることになりました。参加家族は園内の棚田を使いイベントのお客で無く主体的に農作業を営む方式になります。クラブは作物（コメ作りは必須）、作業計画や技術相談など側面支援を担います。今春に希望者を募り運用開始します。一方園路はリーダーを置かず 5 名のサブリーダー持ち回りで運用することで決着しました。

会員：14 期養成講座卒業生は昨年と同数の 9 名で全員クラブに加入されました。9 名の退会者有った関係で会員数は 102 名変わりません。昨年はコロナの影響で養成講座終了後のイベントや作業が無くやる気をそぐ結果になりましたが、今年はミニ門松づくり、正月の郷遊びに参加するなど、良いスタートが切れました。

統計資料：イベント回数にえんサポ（工区招聘イベント）を除く、2021 年度 1 月末現在）

年度	活動日数	延べ人員	平均	イベント回数	イベント客数
2021	113	1,149	10.2	26（中止 33）	285
2019 比	-43	-453	-0.1	-34	-678
2020	111	1,178	10.6	21（実施分）	345
差異	-45	-424	0.3		-618
2019	156	1,602	10.3	60（中止込）	963

年間参加日数 34

参加回数	0	1	2-10	11-30	> 30
人（≒%）	38	5	13	22	15